

議会だより北栄

書 宍戸美翠 (由良宿 大栄書道愛好会)

北栄町 初の 無投票



特集 今回の選挙を振り返って	2
第6期 新体制スタート	4
9月定例会	6
町政 ここを問う	10
議員間討議「どうする風力発電所」	14

No.
76
令和7年11月

今回の選挙を振り返って

9月30日に10月5日執行の北栄町町長選挙及び北栄町議会議員一般選挙が告示されました。締め切りの17時で、町長選立候補届出者1名、議会議員一般選挙立候補届出者13名であり、どちらも無投票當選となりました。

まちの声

60代男性

町の運営が安定しているから議員さん達に委ねる、任せることが出来ると思っています。真に志がある方だけが立候補して欲しいです。選挙あるなしはどうでもかまいません。

議員さん達の給与をもっと上げて今後の町に何が必要か未来予想と対策を訴えてワクワクさせて欲しいですね。町の議員さん達は私達の身近な存在です。

時々議会を視聴しています。

新たな陣容の皆さんに期待しています。



30代女性

興味がないので、はじめから行く気なくどちらでもいい。



70代男性

時々議会を視聴しています。報酬をもっと増やし、議員定数を減らして選挙するべきだと思います。新たな陣容の皆さんに期待しています。



40代男性

無投票で良かった。半数位入れ替わる可能性があるなら選挙があった方が良いが、1人～2人位の入れ替わりなら選挙をやってもしかたない。



50代女性

定数13人がそろってよかったです。選挙がなくて町のお金を使わなくて済んでよかったです。



40代男性

無投票選挙で当選が決まると、選挙戦というハードルを乗り越えていないので、町のために働くなどの志が無くても当選できてしまう。よって議会の先細りになりかねない。



70代男性

定数13に減らしたが、無投票。なり手不足はこれからも続くと思われるが、もっと減らすべきかどうか、真剣に検討してほしい。



20代女性

無投票になったことに対して、自分の意見を反映させる機会が少なくなってしまうと感じました。有権者として自分の意思を示せない状況もあることを実感し、地域の政治に関心を持つ大切さを改めて感じました。



50代女性

町長選挙ならあつた方が良いが、町議会選挙なら投票する人は決めているので、どちらでも良い。



30代女性

無投票になつたので、お金(選挙費用)を使わなくて良かつた。



議員定数は今回の選挙から2名削減され13名となりました。勇退5名に対し新人3名となり、定数の13名を超える北栄町初の無投票となりました。

前回の選挙の状況

町長選 立候補者数／定数：2／1
議員選 立候補者数／定数：16／15
投票日：令和3年10月3日
有権者数：12,292人
投票率：65.7%

今回（10月5日）の選挙の状況

町長選 立候補者数／定数：1／1
議員選 立候補者数／定数：13／13
投票日：令和7年10月5日
有権者数：11,773人（令和7年9月29日現在）

地方議会において、議員のなり手不足は全国的に大きな問題となっています。「議員の果たす役割は大きいが、なり手がない」という問題は町民の皆さんとともに考えていかなければなりません。

要因としては、仕事や家庭との両立の難しさ、報酬や活動環境への不安、議会の仕事内容が見えにくいくこと、政治への関心の低下などが挙げられます。次回の選挙までに一步でも前進できるよう、議会は対話の機会を広げ、情報の「見える化」や相談の場を充実させていきたいと思います。一緒に北栄町の未来を作り上げていきましょう。

第6期 新体制スタート

蓑原 美百合（無所属）②



町民の皆様の声を原動力に、繋がりと支え合いを更に強く。誰もが安心して暮らせる北栄町を、皆さんと共に築いていきます。

河本 文哉（無所属）②



課題は常にあります。そして、いろんな考え方や意見があり、立場や環境でも変化します。だからこそ、リスクを持って前向きな対話を心掛けたいと思います。

中山 功一（無所属）②



『問題があればまず聴いて、一緒に考え深掘りし、課題を解決して生活を変えていく』そんな議会にしていきます。

油本 朋也（無所属）④



4期目を迎えました。計画されてきた一連の大型事業に道筋が見えてきたこの任期中に浮上してくる大きな課題は次の点。由良地区の医療機関誘致、町内の買い物環境の改善、そして基幹産業である農業の後継者問題です。これまで培ってきた知識と経験を携え、一層の責任感と緊張感をもってこれらの難敵に立ち向かって行きます。

秋山 修（無所属）③



議員の重要な役割である、行政のチェック機能を重視した議会活動を行います。PDCAサイクルの視点で計画から改善までの事業評価を通して、成果と課題を明確にします。限られた財源を有効に活用し、健全な財政運営が行われる町政を目指します。町民の期待に応える持続可能で透明な町政を推進します。

奥田 伸行（無所属）③



何が正解か不正解か解らない昨今、情報リテラシーと思考力を最大限に發揮し、皆様と共につくるまちづくり、責任ある仕事に努めてまいります。

副議長

井川 敦雄（無所属）②



このたび、副議長の重責を担わせていただきました。日々の暮らしの中で感じる声を大切に、町民の皆さんに寄り添う議会を目指してまいります。物価高騰などの厳しい状況もありますが、笑顔で助け合えるまちを守り育てていけるよう、議長を支えながら誠実に努めてまいります。

議長

前田 栄治（無所属）⑥



定数が2人減り13人となりました。行政の監視は当然ですが、今まで以上に情報発信や意見聴取を実施するため広報広聴機能を強化し、調査研究をして皆様にフィードバック（返信）してまいります。住民ニーズを的確にとらえ、政策提案し、全議員がワンチームとなって、暮らし良い北栄町を目指して取り組んでまいります。

議会事務局

事務
補佐
事務
局長

長谷川
利惠
宇山
美寿
嶋久
征

町民の声を大切にした新たな風を感じています。議会事務局も信頼される議会運営が行えるよう全力で取り組みます。

長谷川 昭二（共産党）⑥



物価高騰が町民の暮らしと営業を直撃しています。私どもが取り組んだ町民アンケートでは、8割の方が「生活が苦しくなった」と回答しておられます。これからも、寄せられた声を議会へ届け、「暮らし第一のまちづくり」をすすめてまいります。また、大軍拡・暮らし破壊の政治が町民の暮らしに大きく影響しています。平和と暮らしを守るために、国の悪政にもキチンとモノを言い、活動をすすめてまいります。

斎尾 智弘（公明党）④



この度の選挙期間中、様々な声を頂きました。多かったものに由良宿への医療機関の誘致、空き家対策、北条、栄地区の買い物拠点整備、災害時避難所となる学校体育館への空調設備の整備です。これは保護者の方から1年でも早く整備し、涼しい環境で運動をさせてほしいとご意見を頂きました。これらの実現に努力していきます。今後も多くのご意見を頂きますようお願いします。

山下 正美（無所属）①



北栄町が「住みやすい」「住んで良かった」と、心から思えるまちになるよう力を尽くしてまいります。そのためには現実をしっかりと見つめ、未来に向けて一人ひとりが考え方行動していくことが大切です。そして何より地域の皆さんとの横のつながり、世代や立場を超えた協力と連携がまちの力になります。皆様の声を大切にし、共に歩む姿勢を忘れず、誠実に取り組んでまいります。共に北栄町の今を見つめ、より良い未来を築いていきましょう。

中井 宏衛（無所属）①



今、時代は今までにないスピードで変わりつつあると感じています。その変化に対し地方は独自の発想で協力し合い対応して行かなければなりません。そうした中で私たちの役割は町民の皆さんから知恵をお借りし、議会に反映されることだと考えています。住みやすい町、北栄町のために。

永田 恒彦（無所属）①



町民の皆さんをはじめ、北栄町の関係者全員が、少しずつでも想いを繋げ、よりよい社会を作りあげていくことを応援いたします。また、そして実現したすばらしいまちを、次の世代へと繋げていくために努力してまいります。まずは皆さんの気持ちをお聞かせください。語り合うことこそが、「繋がり」の構築への第一歩です。

賛否 分かれた！ 結果 どうなった

【議案等】

【請願・陳情の結果】

※ ○：賛成者、議：議長（議長は採決には加わりません。）

激論!! 令和6年度 北栄町決算 賛否あり

賛否あり

一般会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

観光振興が進む一方で、交通弱者支援や教育住宅施策が不十分である。町民の暮らしへの配慮が課題となっている。

《贊成》 井川 敦雄

収支を適切に管理し、社会保障費や建設事業費が増加する中でも、財政健全化指標は基準を大きく下回り、安定した財政運営が見込まれる。

《反对》 萩原 美百合

5億8600万円の不用額は計画性の欠如を示し、町民に寄り添った行政運営とは言えず、重大な問題である。

国民健康保険事業特別会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

自己負担が高く生活を圧迫しており、町独自の医療費軽減策が不十分で安心して受診できる環境が整っていない。

《贊成》 井川 敦雄

実質収支は1億553万円の黒字で、保険税徴収率も高く、一般会計からの1億2285万円の繰り入れにより安定した運営が行われている。

介護保険特別会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

制度改悪により利用者負担が増加している。
保険料・利用料の軽減による必要な介護が受けられる仕組みが必要。

《贊成》 井川 敦雄

介護保険料は99.9%の高い徴収率と安定財源を活かし、在宅医療・介護連携により地域共生社会の実現が進められている。

後期高齢者医療事業特別会計の認定

《反対》 長谷川 昭二

窓口負担や保険料軽減措置の縮小により高齢者への負担が増し、医療差別が懸念されており、国による制度改革が求められている。

《贊成》 井川 敦雄

超高齢化に伴う医療費増加に備え、早期発見・治療を重視し、医療機関と連携し円滑な事務運営が行われている。

今後の取り組みは

男女共同参画の推進



町長 生活に根付かせる

町田 第4次北栄町共同参画基本計画について、今後の取り組みを伺う。



誰もが認められ、活躍できる社会を

ここを問う

9月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項	その他の質問
10	町田 貴子	男女共同参画の推進	
11	蓑原美百合	移動手段の確保	子育て支援の充実
	井川 敦雄	紫外線対策	地域おこし協力隊の定住
12	斎尾 智弘	学校体育館の空調設備	有害鳥獣対策、防災行政無線、こども誰でも通園制度
	中山 功一	民生委員と重層的支援体制	全国学調、医療的ケア児の支援体制
13	河本 文哉	青山剛昌ふるさと館の収支計画	
	長谷川昭二	下水道事業の集約化	

【お知らせ】傍聴さんへ いらっしゃい！（令和7年12月定例会の日程 ▶ 12/2～12/18）
*日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

環境をやさしく 移動手段の確保



町長

移動に不安や困難を抱える住民がいる。

移動手段の確保は日常生活の維持や社会生活を支える重要なものである。

- ①タクシー利用料助成が年間100枚では不足。拡充を。
- ②国、「地域公共交通の再構築」の考え方を踏まえ、「新たに必要な交通手段を関係者でつくる場」が必要では。

①全般的な財政バランス、福祉サービスの充実も考えながら検討する。

②色々な場で情報収集し、ニーズが盛り上がり上がってくれれば、何か会議が必要だと思う。



*出典：国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/redesign/>
地域公共交通のリ・デザイン

教育長 問題ない



井川

紫外線が眼に悪影響を与えることは知られています。おしゃれとかファッショントrendではなく、児童・生徒の眼の保護をするための対策としてUVカットサングラスの着用について伺う。

紫外線対策

UVカットサン グラスの着用を

教育長

UVカット仕様で色付きでないサングラスであれば、普通のメガネと変わらないので、問題ないと考える。



求められる対策



町長 検討していきたい

斎尾

7月にカムチャツカ半島沖で地震が発生し太平洋側の広い範囲で津波警報が発表された。新聞報道によると酷暑のなかでの避難が課題だと伝えている。災害時に避難所となる学校体育館の空調整備について3月議会でも取り上げたが、具体的にどのように考えているか。

町長 重要な課題であると認識している。国においては避難所となる学校体育館の環境改善を図るため、交付金制度を新設し空調設備の導入を加速化している。この制度を活用し令和15年度までは優先度や費用対効果を精査しながら整備を検討していく予定。



避難場所となる大栄小学校体育館

体育館の空調整備を

町長 つなぐ役割を担つてほしい

中山

北栄町ではいち早く重層的支援体制をとっている。また、地域には民生児童委員がいる。①それぞれの役割について伺う。②民生児童委員のなり手不足解消に向けた具体的対策は。

町長 民生児童委員：つなぐ



重層的支援体制：支援の実施



民生委員の負担を軽く

町長 ①民生児童委員の活動の実態が、行政を始め専門機関に「つなぐ」ことであるのに対し、重層事業は実態に応じた支援や、他の専門機関を巻き込んだ解決策の提供など、「実施」することに重点がある。「重なる部分」で連携を図り、町民の福祉増進や課題解決を図っている。

青山剛昌ふるさと館再整備

別料金企画展示を開催

青山剛昌ふるさと館再整備
河本文哉



収益機会は

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



下水道マンホール

住民負担の増大では

町長 なるなら、しない

長谷川

下水道事業の「共同化・広域化」について、次の懸念はないか。

- 1 ウォーターPPP（官民連携方式）でのスケールメリットは、集約のための財政負担が住民負担の増大にならないか。
- 2 处理場の一本化で災害時のリスクは、民間参入で利益優先となり、使用料負担の増大にならないか。
- 3 維持管理にともと国の負担を求めるべきでは。

③事業費を縮減した場合に利益を分け合う仕組みがあり、経営努力のインセンティブがある。
④耐震化等の対策のためには経営の合理化は必須。
⑤国の支援事業を活用し、予算確保の要望活動も行う。



激論!!

議員間討議

「どうする 風力発電所」

9月12日、予算決算常任委員会において、風力発電事業の今後について議員間討議が行われました。様々な意見が交わされました。



決断のとき 迫る

あなたはどう考えますか?
ぜひ、ご意見をお聞かせください。
令和8年3月に最終決定がなされる予定です。
議員の間でもさらなる議論を重ねていきます。

油本朋也

譲渡には住民の声を聞くことが不可欠。改選後の広報広聴委員会の機能を活用することが望ましい。山陰道との距離や災害リスク、無償譲渡の妥当性にも疑問があり、撤去費用を考慮しても基金に余裕があるため、現時点では慎重な姿勢が求められている。

※前田副委員長が進行したため
討論はありませんでした。

河本文哉

譲渡方針がある中で、リスク重視の立場から解体を支持。山陰道に近く不特定多数が利用するため、慎重な判断が必要とされている。

野田秀樹

この討議で賛成反対で決を採ることではなく、これから町のためにどういった方向でいくのか、ある程度の方向性が見出せればいいのではないかと思う。

阪本和俊

譲渡に不安があり、地元と町の説明に乖離を感じる。事故リスクも踏まえ、議論には十分な情報と議員の確認が必要とされている。

長谷川昭二

風車は撤去が決まっており、住民の安全が最優先。山陰道に近く危険性があるため、譲渡より撤去を優先し、基金はそのために確保すべき。

井川敦雄

譲渡には賛成だが山陰道の近さが懸念され、町の責任も残る。基金は将来の災害対応や次世代の選択肢のために残すべきと考えている。

尾嶋準一

風車譲渡に賛成。地元説明では住民や町のための配慮が感じられ、自治会でも反対意見がなく、その方向で進めてほしいと考えている。

奥田伸行

風車は耐用年数を過ぎ、設置基準や野鳥被害の面でも撤去が妥当。譲渡する場合も無償でよいが再検討が必要。

町田貴子

譲渡にはリスクがあり、現時点で資産処分は困難。今は保留し、基金を積み立てながら将来の活用を検討すべきではないか。

蓑原美百合

譲渡先や住民の反応などの情報が不十分なまま討議が進むのは問題であり、基金の使い方も含め住民の意見を反映すべき。

提案者 津川俊仁

令和6年度決算の数字は、今後の風力発電所譲渡の判断材料となる重要な情報であり、議員は貸借対照表や損益計算書を理解し、数字をしっかりと押さえたうえで結論を出せるよう臨む必要がある。

秋山修

無償譲渡は公的財産の扱いとして疑問があり、設備価値や基金残高、事故リスク、瑕疵担保責任なども整理すべき。契約素案の早期提示が望まれる。

中山功一

譲渡後も撤去は必要だが、譲渡先が解体費用を負担するため町の基金は他用途に活用可能で、町にとってのデメリットはないといふ。地域貢献の意向もあり、無償譲渡は問題ないと考えられている。広報広聴委員会の活用による住民の声の反映にも賛成。

齊尾智弘

住民の安全と環境への配慮を重視し、地球規模の視点で環境問題に取り組むことで、より良い解決策が見出せると考えられる。

4年間 よろしくお願ひします



— 委員会構成 —

議会運営委員会	
委員長	長谷川昭二
副委員長	河本文哉
委員	中山功一
委員	井川敦雄
委員	油本朋也
委員	齊尾智弘
総務教育常任委員会	
委員長	齊尾智弘
副委員長	永田恭彦
委員	中井宏衛
委員	河本文哉
委員	秋山修
委員	前田栄治
委員	長谷川昭二
民生経済常任委員会	
委員長	中山功一
副委員長	山下正美
委員	井川敦雄
委員	蓑原美百合
委員	奥田伸行
委員	油本朋也
鳥取県後期高齢者医療 広域連合議会議員	
前田栄治	井川敦雄
鳥取中部ふるさと 広域連合議会議員	
前田栄治	井川敦雄

発行責任者
議長 前田栄治
編集委員 河本文哉
中山功一
永田恭彦
中井宏衛
井川朋也
油本朋也
長谷川昭二

今期から新しくメンバーでの編集体制に引き継がれました。本期の広報として「議会だより」を通じて町民の声を集め、広聴の機能を強化して皆さんとの対話を深めていきます。
特集でもふれましたのが、今回の選挙は北栄町で初めての無投票となりました。議員のなり手不足という課題に向き合い、町此の皆さんのが関心を持ち、意見を寄せやすい仕組みづくりを進めていきたいと思います。
(原稿)

編集後記